

令和7年度第2回 名張市地域公共交通会議 議事概要
次 第

日時：令和7年9月3日（水）

午前10時00分～正午

場所：ベルウイング武道交流館 1階多目的ホール

出席者：（敬称略）

（1）委員

前川 尚三 （市民公募）

澤田 恭子 （市民公募）

古谷 久人 （地域づくり代表者会議会長）

岡田 美佐子 （名張市老人クラブ連合会女性部副会長）

山根 秀生 （名張市身体障害者互助会事務局長）

勝木 祥文 （名張商工会議所総合商業部会長）

中平 恭之 （近畿大学工業高等専門学校総合システム工学科教授）

樋口 恵一 （大同大学准教授）

姫子松 伸浩 （近畿日本鉄道株式会社名張駅長）

川北 幸宏 （三重交通株式会社伊賀営業所所長）

橋本 智幸 （株式会社メイハン取締役部長）

前田 敦志 （一般社団法人三重県タクシー協会伊賀支部 支部長）

豊永 育子 （公益社団法人三重県バス協会）

尾上 義文 （三重交通労働組合伊賀支部支部長）

沢西 芳円 （伊賀建設事務所副所長）

片岡 真也 （【代理出席】名張警察署交通課巡查部長）

森 慶之 （国土交通省中部運輸局三重運輸支局首席運輸企画専門官）

木村 禎志 （【代理出席】三重県地域連携・交通部交通政策課係長）

伊集院 時仁 （名張市都市整備部部長）

野口 泰弘 （名張市地域環境部部長）

出江 良隆 （名張市副市長）

（2）オブザーバー

小倉 宏基 （三重交通株式会社伊賀営業所総務係長兼営業係長）

（3）事務局

都市整備部 都市計画室 4名

会議の公開・非公開：公開

傍聴人：なし

1 開会

2 会長あいさつ

皆様、本日はお忙しいところ第2回名張市地域公共交通会議にご参集いただき誠にありがとうございます。

名張市副市長の出江でございます。

皆さま方におかれましては、日頃から、市政全般に格別のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

また、本市の公共交通政策にご理解とご協力を賜わり、それぞれのお立場でご尽力をいただいておりますことにつきましても、重ねてお礼申し上げます。

さて、本年度2回目となります本日の会議でございますが、6月に開催いたしました第1回会議におきまして議題とさせていただいております市街地循環型コミュニティバスナッキー号の運賃の見直し、及び無料キャンペーンにつきまして、市民の皆さまへのご意見募集が終わりましたので、その結果についてのご報告と実施案について。また、薦原地域のコミュニティバスコモコモ号の運行再編におきましては実施案が固まってまいりましたので、これらを議題とし、ご議論賜わりたいと存じます。特にコモコモ号の運行再編につきましては、本年度の公共交通施策において重要な位置付けにあると考えております。利用者が減少しているコモコモ号の運行の合理化や利用促進を図ることはもちろんですが、加速度的な人口減少下において、将来の市内各地域の移動手段を考える時、この実証実験が一つのモデルになる可能性があるということが非常に意味深いと感じています。

後ほど事務局から報告もあると思いますが、本年度はモビリティ人材育成事業についても実施し、将来の地域特性に応じた移動確保に向けた取り組みも進めていこうとしていますので、コモコモ号がモデルとして都市計画室成功し、今後他の地域へ横展開していく可能性についても期待しているところです。地域住民自治が成熟している本市であるからこそ、この人材育成事業を通じて、地域住民の方々の移動に関するリテラシーを高めていただき、地域ごとの課題抽出や移動ニーズに対する担い手の確保方法など持続可能なベストミックスを、地域共生という観点も含めた中で目指して行ければと考えております。最後に、ご承知の通り名張市地域公共計画では、公共交通のみならず福祉、観光、環境、教育等の他分野の移動手段と連携、協働しながら、市内の拠点間、地域間をつなぐネットワークづくりを推進することとしております。本会議はそれを実現するために検討、議論を行う場でありますので、どうか活発なご議論をお願いしたいと思います。

委員の皆さま方には、それぞれがお持ちいただいている知見を元に忌憚のないご意見を賜わりますよう、何卒よろしく願い申し上げます。

甚だ簡単ではございますが、会議開催にあたりましての私からのご挨拶とさせていただきます。

3 議事

【協議案件】

(事務局より資料に基づいて説明)

(1) 市街地循環型コミュニティバスナッキー号の運賃見直しに係る意見募集結果について

【資料1-1、1-2】

委員：運賃については、令和5年の法改正により、運賃協議部会で別途議論することになっているので、その点委員の皆さんにお願いしたい。

乗り継ぎ割引について、運転手の負担や乗り継ぎ証明書をもらい忘れた時の対応など、協力体制をしっかりと構築してほしい。

委員：乗り継ぎ証明の日付の期限はあるのか。その辺りもしっかり検討してほしい。

委員：人件費については、正社員だけでなく、アシストベースの部分も高騰している。その点も理解いただきたい。また、人口減少等も含め、コストがかかっている。コストの分散も理解していただきたい。乗り継ぎ割引については、名張市・労働組合とで話を詰めていきたい。

委員：コストが上がっている点については、はたっこ号も同様である。市からの補助金が低すぎるのではないかと考えている。その点も考えてほしい。

⇒市・地域・利用者・事業者の協働・役割分担でこれまでも運行をいただいている。コモコモ号の再編についても、コスト面は意識しながら検討している。国補助金をもらうこともできるため、そういったものも考えながら検討したい。

委員：低すぎる。現実的な課題として捉えてほしい。

⇒いただいたご意見を参考に内部で検討したい。

座長：限られた予算の中で地域で知恵を絞っているが、また高騰の状況も検討していただきたい。

委員：障害者の運賃無料について、意見が色々ある中、互助会としてもヒアリングをする中で、ナッキー号がなくなるくらいなら幾分か負担も仕方ないという意見も聞いている。

⇒貴重な意見ありがとうございます。その点について、また必要が生じてきたら協議させていただきたい。

委員：運転手の労働環境について、運賃の底上げや労働環境の改善が進んでいる。運賃についても最低限のラインが決められており、それを下回ると運行できないという罰則もある。また、安全面の強化についても改善が進んでいる。点呼についても必ずするのはもちろんのこと、カメラで確認するなどの動きも広がっている。ただそういった体制を整えるのにコストもかかってくる。運転手の給与だけでなく、営業全体に関わってくる。

もう一点、住民意見の中で運賃が上がってもいいので、ノンステップバスを導入してほしいとの意見がある。200円にしてよかったと思えるように前向きに検討してほしい。

⇒ノンステップバスの要望については、本意見だけでなく日ごろからも意見をいただいている。社会としてもノンステップバスへの移行が進む中で、今後、次年度の予算編成がある中で、検証・検討は行っていきたいと思っている。

座長：ノンステップバスに移行した場合はコストは上がるのか。

⇒まだ試算はできていない。また、三重交通と協議したい。

座長：高齢者に優しい形になるので、検討を進めてほしい。運賃値上げ自体への反対はなかったかと思うので、その他意見を踏まえて11月の交通会議に向けて協議していただきたい。

(2) 市街地循環型コミュニティバスナッキー号運行20周年記念無料乗車キャンペーンに係る
意見募集結果及び実施案について **【資料2-1、2-2】**

座長：未利用者層への利用促進が一番の目的かと思う。免許返納などを考えている人の不安をバスを利用することにより解消できればと思い。事業立案していると思う。

委員：今後の広報について、具体的に教えてほしい。

⇒対象者が全員となるため、広く広報したい。市広報紙、ホームページはもちろんのこと、駅、スーパーに貼るなど、積極的に広報したい。

委員：ナッキー号に乗ることに考えると路線沿いの住民もターゲットになると思うので、そういった住民へも丁寧にアプローチするのも大事だと思う。また、ナッキー号沿線の事業者に対してエコ通勤を促すなど、細やかな対応を検討してほしい。

座長：広報について、他市では時間がかかるという話も聞くが、名張市はどうか。

⇒市広報紙は、タイミングが決まっているが、SNSなどはタイムリーに対応できる。

座長：組織内での稟議に時間がかかるという話を聞くので、スピーディーに発信してほしい。この会議もぜひ発信してもらえたら。

⇒SNSはすぐに発信できる体制にある。

委員：アンケートの媒体だが、QRコードを貼る場所は決まっているか。

⇒座席の前に1つずつ貼りたいと思っている。

委員：降車時にということであれば、降車に時間がかかったり事故につながりかねないので、また三重交通と協議してほしい。

委員：QRコードに対してのアレルギーがある高齢者に対して、意見を出せる袋などを設置してほしい。

⇒今回のアンケートは三重交通の負担も考えてQRコードのみとしたいが、目安箱的なものは今後検討したい。

委員：キャンペーンについて、今後の値上げも知ってもらった上での方がいいと思うがどうか。

⇒アンケートの中で値上げについて、触れる予定。決定の周知については、条例改正後になるが。

座長：詳細部分で検討する点は、あるが承認でよいか。(了)

(3) 薦原コミュニティバス「コモコモ号」の再編について

【資料3】

委員：保険、運行管理。

委員：ライドシェアドライバー 余裕も持って。

委員：15地域の活動の中で担い手不足。今後の課題。本格運行はいけるかもだが、その先、続けていけるか、その辺りもコンサルにも検証してもらいたい。

⇒ドライバーの年齢も考えると、先のことは考えていかないといけない。今後人材育成事業の中でも検討したい。

委員：公共ライドシェア、利用しにくそうな印象。週3回の理由は、定時定路線バスに乗り継ぐしかないのでは。京丹後市は外に行けることになっている。ウーバーを使っている。帰りの利用については。

座長：外に出ることについては、地域内でも議論があったが、一旦地域内で収めるということになった。実証運行、やってみないと分からないという中で、検証したい。

委員：公共ライドシェア、他地域でも導入したいがドライバーが見つからないといった課題がある。その中で14人いることは先進的な事例と思っている。交通計画の変更。

座長：異論なし。(了)

【報告案件】

(1) 令和7年度ナッキー号乗り込み調査結果について

【資料4】

委員：毎年丁寧に調査されていると感じている。公共交通計画において、PDCAサイクルをどう回すのかという点で、どう改善していくのか。

⇒地域公共交通計画の中ではナッキー号の利便性向上を謳っている。具体的な手段については明記していない。現在の利用状況と双方向した際のコスト等を検討する中では、改善としては、いい循環につなげていきたいと考えている。

はたっこ号の1便乗り継ぎは、はたっこ号側が合わさないといけない。

委員：はたっこ号乗り継ぎの課題は何度もお願いしている。全然進まない。

⇒運審からも要望書の件は聞いている。人材育成事業の中であわせて地域と協議している。

座長：改善に1年かかるのは、遅い気がするので、

4 その他

5 閉会

会長：委員それぞれの知見の下、ご意見ありがとうございます。先日、市長を筆頭にまちづくり懇談会を開催させていただき、その中で、公共交通に関する意見をたくさんいただいた。住民の方の公共交通に対する意識が高いことが非常によくわかった。

ナッキー号の値上げについては、値上げと並行して利便性の向上としてノンステップバスの導入など検討していきたい。

キャンペーンについては、早くきめ細やかな情報発信が重要とご意見いただいたので、たくさんの方に乗っていただくように取り組んでいきたい。

コモコモ号の再編については、薦原地域づくり委員会に尽力いただいた。ドライバーも14名確保できたことは大きい。

まだまだ課題は多いが、実証実験としてまずチャレンジしていきたい。

最後に、引き続き名張市の公共交通について、ご協力をお願いしたい。